

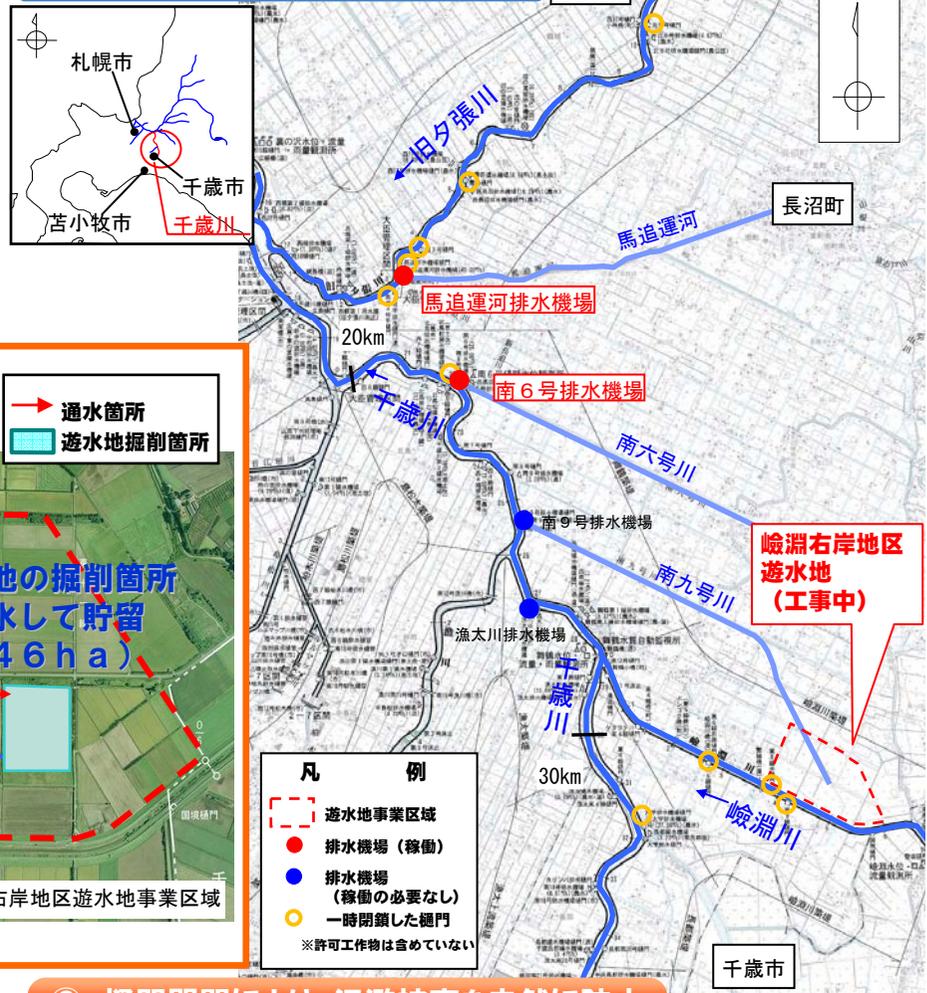
千歳川における8月11日からの台風及び前線に対する対応

概要

台風4号と前線の影響により、平成22年8月11日から12日にかけて千歳市の西越雨量観測所で**94mmの雨量を観測**しました。

千歳川や支川の嶮淵川などでも水位が上昇したため、千歳川河川事務所が管理する樋門の開閉操作や排水機場の運転を行い、水害を未然に防ぎました。

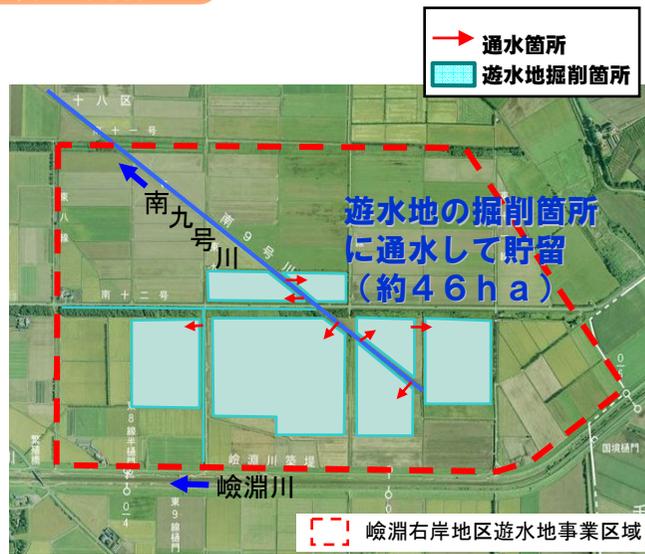
千歳川位置図と流域関係箇所



対応と効果(速報)

① 嶮淵右岸地区遊水地(工事中)による浸水被害防止

工事中の嶮淵右岸地区遊水地の掘削箇所(合計約46ha)に、南九号川の流水約28万m³を**通水して貯留**しました。試算では、通水により、南九号川流域で**約48haの浸水被害を防ぎ**(遊水地事業区域を除く)ました。



② 排水機場により、内水被害を未然に防止

南6号排水機場により、南六号川の流水約4万m³を、馬追運河排水機場により、馬追運河の流水約7万m³を排水しました。試算では、南六号川流域と馬追運河流域で**約11haの浸水被害を防ぎ**ました。



排水機場の運転を行い、内水被害を防止

③ 樋門開閉により、氾濫被害を未然に防止

千歳川、旧夕張川、嶮淵川において**11箇所**の樋門の開鎖を行い、氾濫被害を未然に防ぎました。



※排水機場樋門を含む

出水中(今回)

出水前(H22.6)